

仕様書

I. 工事概要

1. 工事場所 広島県三原市城町1丁目18-6

2. 建物概要

Table with columns: 建物名称 (Building Name), 構造 (Structure), 階数 (Number of Floors), 建築基準法による床面積 (m2) (Total Floor Area according to Building Standards Act), 用途法別区分 (Use Class), 備考 (Remarks).

3. 工事種目 (印の付いたものを適用する)

Table with columns: 建物別及び外装工事種目 (Building and Exterior Work Item), 工事種別 (Work Item Category), 屋外 (Exterior).

4. 指定部分 (※無し・有り(工期平成 年 月 日) 対象部分: )

5. 設備概要

Table with columns: 設備名 (Equipment Name), 仕様 (Specifications).

II. 特記仕様

- 1. 一般事項 (General Items)
2. 特記事項 (Remarks)
3. 区分 (Distinction)
4. 仕様 (Specifications)

- 6. 工事用電力、水、その他
7. 工事用仮設物
8. 発生材の処理
9. 工事写真等
10. 完成写真
11. 完成図その他
12. 施工図等
13. 工事実施情報の登録
14. 総合調整
15. 説明書等
16. 図形表示
17. 電気容量及び機器表示
18. 負担金等
19. 電線類

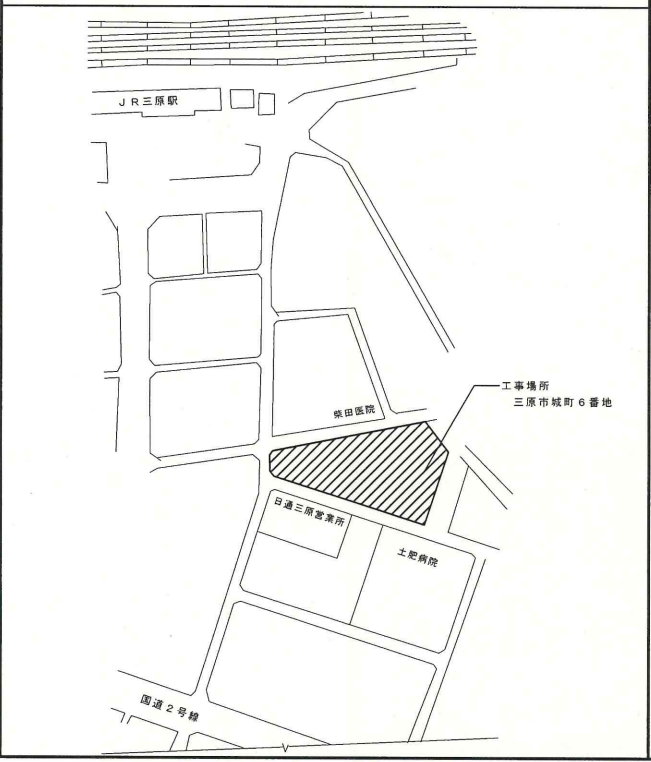
- 20. 支持金具・固定金具
21. 3.3. 配管の建物透入部
22. 3.4. 異種管の接続
23. 3.5. ポンプの電動機
24. 3.6. 給工事との取合い
25. 3.7. 副室措置
26. 3.8. 換気設備の検査
27. 3.9. 撤去工事
28. 3.10. 天井仕上区分
29. 3.11. 工事安全計画書
30. 1. 設計用気象条件
31. 2. 冷水・温水・冷温水・ドレン
32. 3. 配管材料標準仕様
33. 4. 断熱・空気層・給排水
34. 5. 蒸気給気管
35. 6. 蒸気配水管
36. 7. 油・油圧通気管
37. 8. 冷媒管
38. 9. 弁機
39. 10. ファンコイルユニット
40. 11. 天井裏り形RCU及び全熱交換機換気扇
41. 12. 取捨熱器
42. 13. 吸出口・吸込口
43. 14. ダクト
44. 15. 防煙・防火ダンパー
45. 16. チャンバー等
46. 17. 消音内貼り
47. 18. グリス除去装置
48. 19. 網膜流量計及び流量測定口

Table with columns: 外気条件 (Outdoor Conditions), 室内 (調音目標値) (Indoor (Sound Control Target)), and 換気設備 (Ventilation Equipment) details.

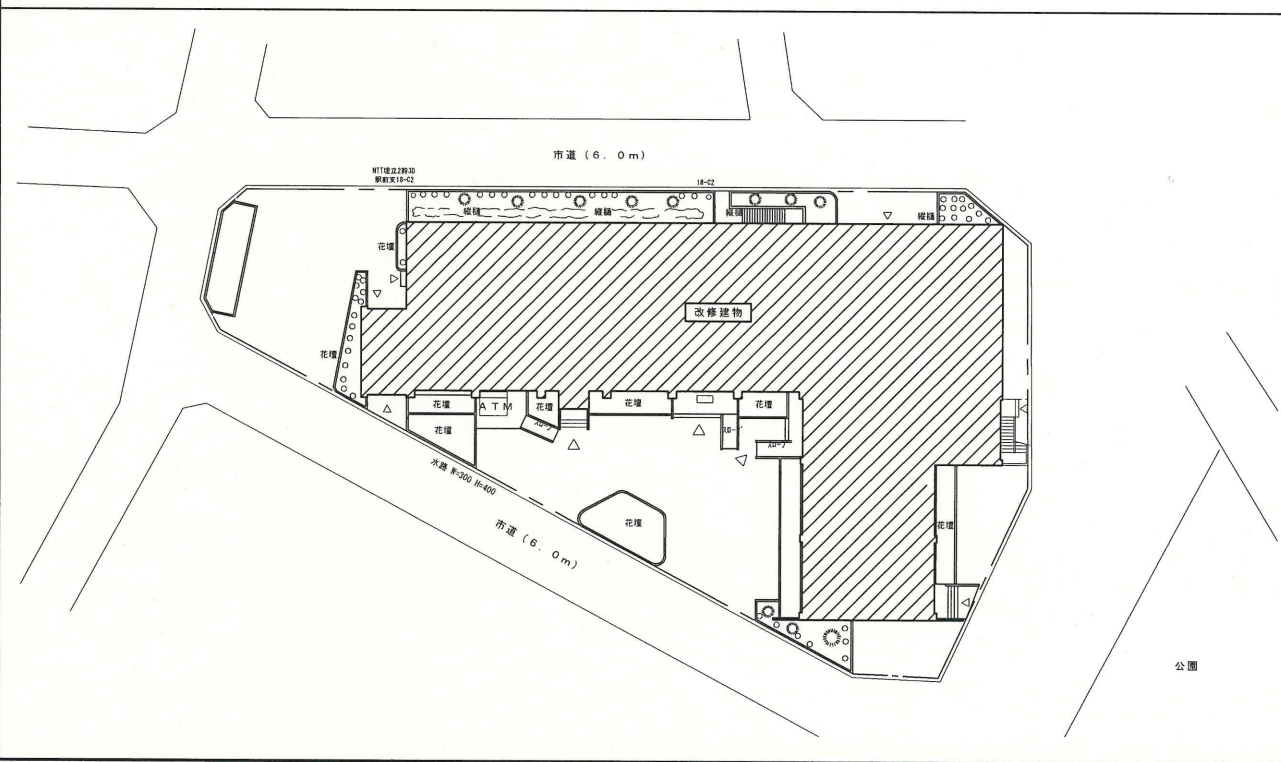




付近見取図



配置図 1/300



凡 例

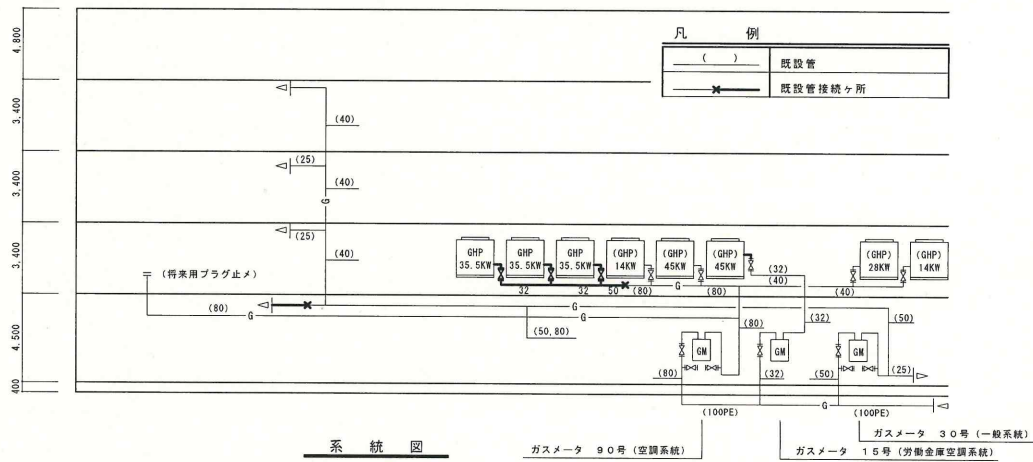
記号	名称	管理	規格	備考
—○—	都市ガス管	配管用炭素鋼鋼管	白管 JIS G 3452	屋外露出部分は塗装仕上とする。
—				

特記事項

- ダイヤモンドコア抜きの増は、課負金額内にて施工する。
- 図示無き機器・配管等で係員の指示するものは撤去処分すること。

凡 例

( )	既設管
—X—	既設管接続ヶ所



系 統 図

ガスメータ 90号 (空調系統)      ガスメータ 30号 (一般系統)  
 ガスメータ 15号 (労働金庫空調系統)

市民福祉会館改修工事 (ガス設備工事) 設計図

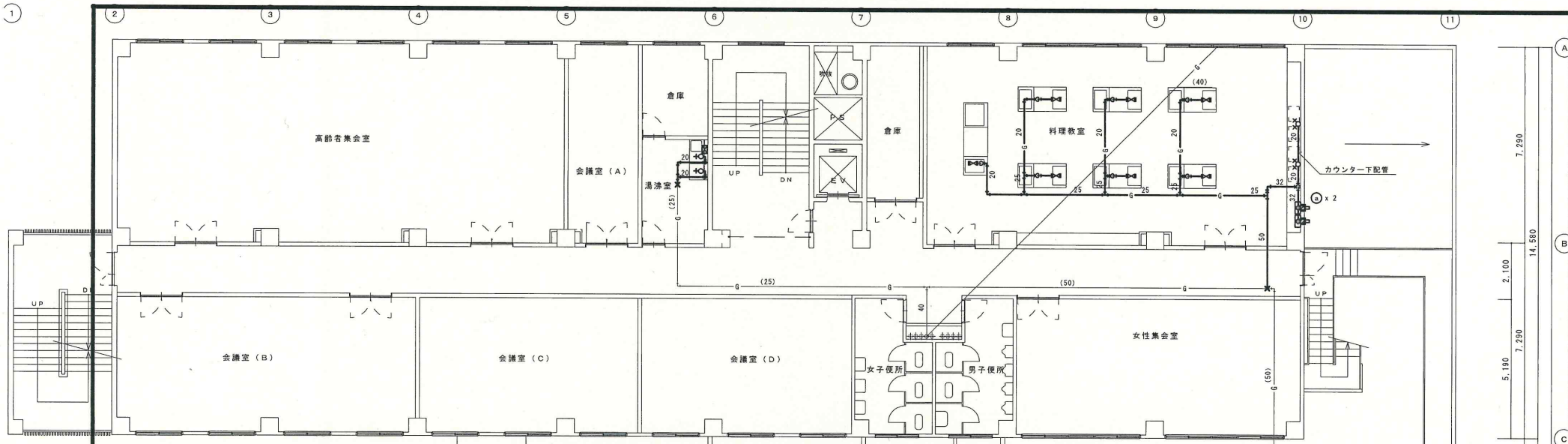
Date

図面名称 付近見取図 配置図 系統図

Scale 1/300

No. G-3





凡例

	穴明け補修部分
	既設管
	既設管接続ヶ所

	穴明け補修		φ150 x φ150 x 2
--	-------	--	-----------------

湯沸室器具表

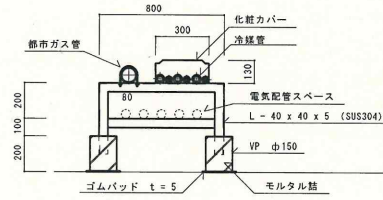
名称	規格	数量	備考
庫口ヒューズガス栓	G815A-2 CG-2共	1	
ガス瞬間湯沸器	5号 元止め	1	
可とう管ガス栓	G331	1	
強化ガスホース	T1/2 x 200L	1	

料理教室器具表

名称	規格	数量	備考
可とう管ガス栓	FF-751A	7	
金属可とう管	T1/2 x 400L	7	
ガス瞬間給湯器	3.2号 屋内壁掛型 (F式)	2	60-3210WZ-FF-1 相当品
換気口付ネジガス栓	FF-752A	2	
金属可とう管	20A x 250L	2	
双口ヒューズガス栓	N823A CG-2共	2	

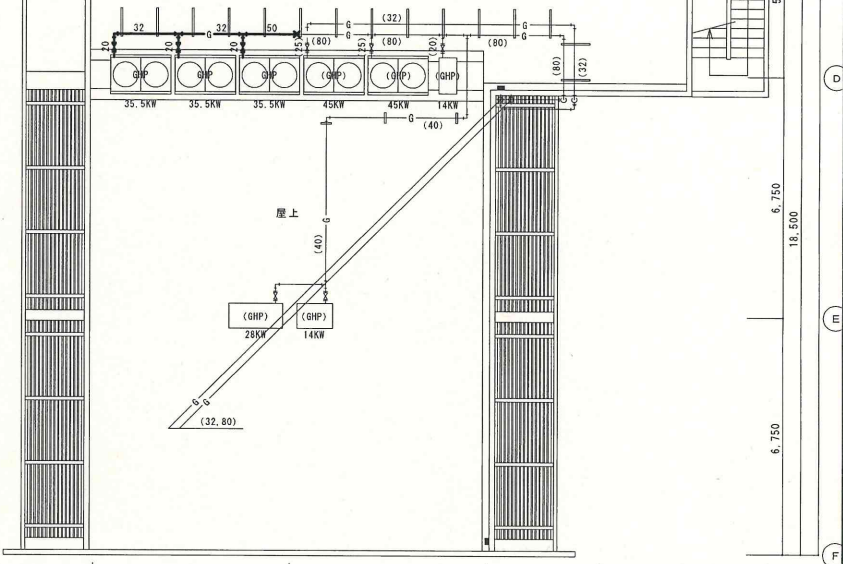
屋上器具表

名称	規格	数量	備考
換気口付ネジガス栓	FF-752A	3	
強化ガスホース	20A x 500L	3	



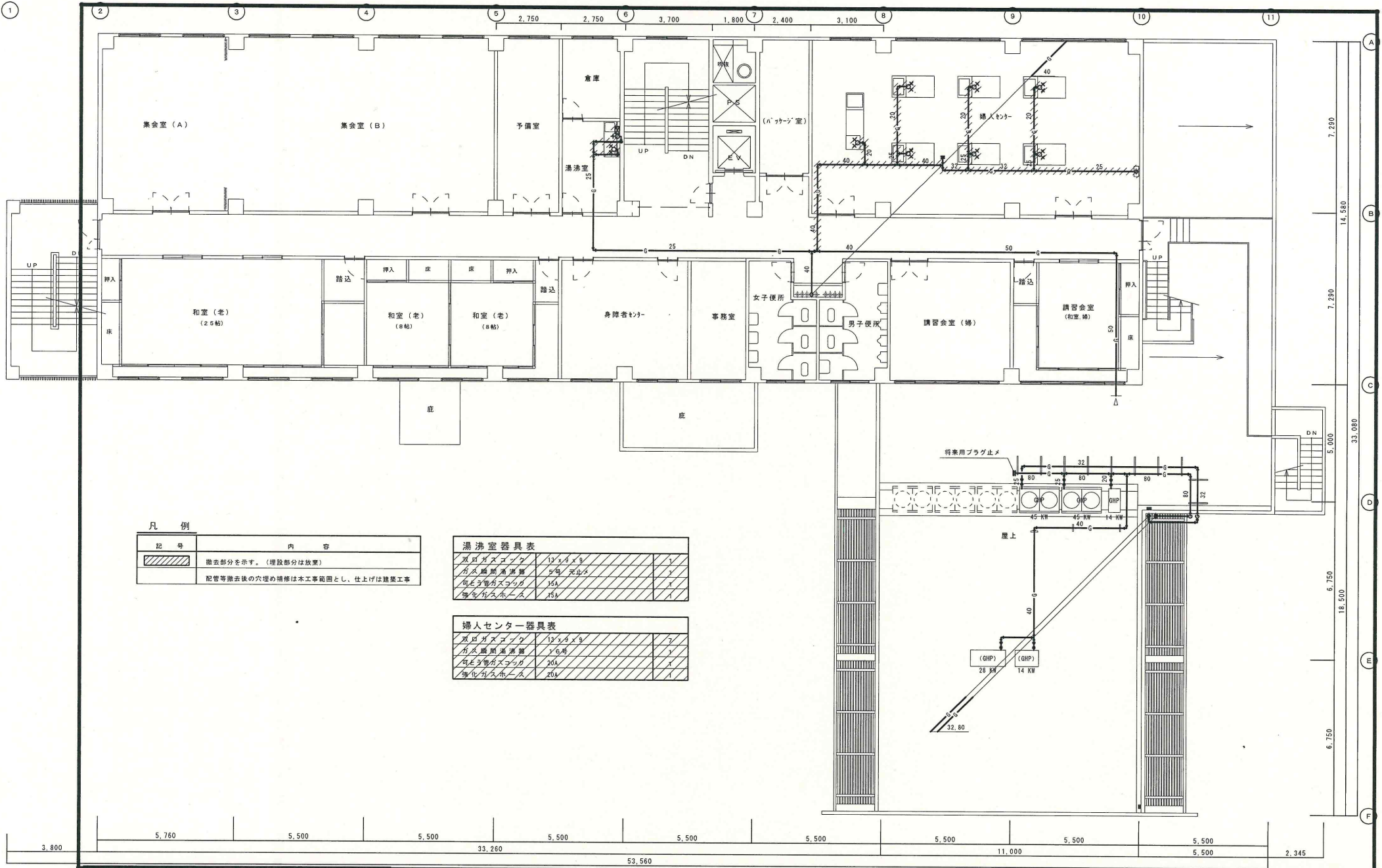
※ 配管用架台は、別途空調和設備工事とする。

屋上配管要領図



3,800	5,760	5,500	5,500	2,750	2,750	2,750	2,750	2,750	2,750	5,500	5,500	5,500	5,500	2,345
				33,260	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500	11,000	5,500	5,500	
											53,560			





凡例

記号	内容
	撤去部分を示す。(埋設部分は放棄)
	配管等撤去後の穴埋め補修は本工事範囲とし、仕上げは建築工事

湯沸室器具表

双口ガスコック	1/2 x 1/2 x 9	1
ガス調圧器	5号 圧上げ	1
可とう管ガスコック	35A	1
単化ガスホース	15A	1

婦人センター器具表

双口ガスコック	1/2 x 1/2 x 9	2
ガス調圧器	1号 圧上げ	1
可とう管ガスコック	20A	1
単化ガスホース	20A	1

仕様書

1. 工事概要
1.1 工事場所 広島県三原市城町1丁目18-6
1.2 建物概要

Table with columns: 建物名称, 構造, 階数, 建築基準法による区分, 消防法施行令別表第1の区分, 備考

3. 工事種目 (印の付いたものを適用する)

Table with columns: 建築物及び部分, 工事項目, 工事種別, 選別

4. 指定部分 ※ 無し、有り(工期平成 年 月 日)
対象部分:

Table with columns: 設備概要, 空気調和方式等, 主要熱源機器, 換気設備, 排気設備, 自動制御設備, 給水方式, 排水方式, 衛生設備, 給湯設備, 消火設備, ガス設備, 土壌浄化槽

II. 特記仕様
1. 一般事項
1) 図面及び特記事項に記載されていない事項は、すべて建設大臣官庁官庁設備部監修の機械設備工事共通仕様書(平成9年版)以下「共通仕様書」という、及び機械設備工事標準(平成9年版)以下「標準」というによる。

Table with columns: 区分, 項目, 特記事項

8. 工事用電力、水、その他
9. 工事用仮設物
10. 土工事

11. 発生の処理
12. 工事写真等
13. 完成写真

14. 完成図その他
15. 施工図等
16. 工事実施情報の登録

17. 総合調整
18. 説明書等
19. 図形表示
20. 電気量及び機器表示

21. 負担金等 (消費税抜き)
22. 電線類

23. 機器付属の制御盤
24. 塗装
25. 保温

26. 防振継手
27. 引込継手
28. 弁類
29. 埋設表示
30. はつり工事
31. 掘削等

本工事に必要な工事用電力、水などの費用は請負者の負担とする。
官公庁への手続きなどの費用は請負者の負担とする。
構内につくることが、できる ○ できない

Table with columns: 分種規格, 枚数, 部数, 前後の寸法(mm)

共通仕様書による完成図その他を監修員に提出する。提出部数 3部
完成図はCADにより作成し、CADデータをMOまたはFD等にて提出する。

21. 負担金等 (消費税抜き)
・ 給水引込負担金 (加入金及び納付金等を含む) ( ) 円
・ ガス引込負担金 ( ) 円
・ 下水引込負担金 ( ) 円

Table with columns: 呼称, 記号, JCS規格, 名称

イ) 本工事においては、次の電線類 (EMケーブル) の規格を追加する。

Table with columns: 呼称, 記号, JCS規格, 名称

ロ) EMケーブルで規格等の記号のないものは、ハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとし、次の記号及び仕様にする。

Table with columns: 記号, 仕様

ハ) EMケーブルの電線の色別は、原則として建設大臣官庁官庁設備部制定の電気設備共通仕様書(平成9年版)による。

イ) 燃焼熱源機器内の配管の保温材で、ポリスチレンフォーム保温材とあるものは同じ施工種別のロックウールまたはグラスウール保温材を使用する。

ロ) 冷媒管の保温材は 屋内露出 ・ 綿布 ・ 保温化粧ケース
屋外露出 ・ ステンレス鋼板 ・ 保温化粧ケース

ハ) 共同用の保温塗料
ニ) 全熱交換機の給気ダクト ( ・ 機器外側 ・ 機器室内側) は、保温 (25mm) する。

ホ) 防振用接気ダクトの断熱 (端部) ・ hイ) Ⅷ ・ 行わない
※ 適合品 (縁部) ・ ポリテトラフルオロエチレン製 ・ ペロレーズ (ステンレス製)
※ ベローズ製 ・ スリッパ製

29. 埋設表示
既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の欠明けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。
工事の竣工に伴い既設部分を汚染または損傷した場合は、既成にない状態とする。

33. 配管の建物準拠
34. 配管の接続
35. ポンプの電動機
36. 他工事との取合い
37. 耐震措置

38. 海陸配管の検査
39. 撤去工事
40. ステンレス鋼管の接合方法
41. 観音の防食処理
42. 井 類
43. 工事安全計画書

ポンプ及び駆動装置のアンカーボルト、ナットはステンレス製 ( SUS304 ) とし、座付の配管、ダクトに使用する支持金物等はステンレス製 ( SUS304 ) とする。
溶融鋳造ものは ( ※ 2種 35 ・ 2種 50 )
( ・ 鉛水 ・ ガス ・ 油) 配管の取付は標準図 施工 4 とし設置箇所は図示による。
標準図施工 3 による。設置箇所は図示による。
※ 溶融鋳造の材質は特記記載無しの場合は、4種以上とする。
図面に特記のない場合は別紙「工事区分表」による。

「官庁設備の総合計画調査報告書」及び「建設大臣官庁官庁設備部監修」によることとし、施工は「建築設備調査設計・施工指針1997年版」(建設省住宅局建築指導課)による。
建物の種別 ・ 特設施設 ○ 一般の施設
重要機器 ( ・ 防災機器 ・ 防火機器 ・ 火災を使用する機器 ・ タンク類 )

○ ガス配管 ・ ガス配管以外 ( )
非防爆構造の適用 ※ 無し
・ 有り ( ・ 炭粉連続構造 ・ 透過率検査または絶縁層構造 )
抜取率は ・ 共通仕様書による。
撤去する配管、ダクトの保護は取り外す。

7.5A未満の継手は ・ 溶接接合 ・ メカニカル接合 ・ フランジ接合
排水用塩化ビニル管の土中埋設部分は防食処理を行う。
( ) 書きの室名は天井非表示とし、その他天井非表示を示す。
建設工事防災対策防止対策要綱及び建築工事安全施工指針を参考に、工事安全計画書を作成し監修員に提出する。

Table with columns: 設計用気象条件, 外気条件, 室内 (調整目標), 温度 (DB), 湿度 (WB), 温度 (DB), 湿度 (WB), 温度 (DB), 湿度 (WB)

※ 配管用炭素鋼管 (白管) ・ ステンレス鋼管 ( SUS304 )
※ 配管用炭素鋼管 (白管) ・ 塩化ビニル管 ( PVC ) ・ ポリ塩化ビニル管
※ 配管用炭素鋼管 (白管) ・ ステンレス鋼管 ( SUS304 )
※ 配管用炭素鋼管 (黒管)
※ 配管用炭素鋼管 (黒管)
※ 圧力配管用炭素鋼管 ( STPG370 黒 )
※ 配管用炭素鋼管 (黒管)
※ 断熱材被覆鋼管 (製造標準品) ・ 鋼管
JIS K とする。ただし、特記記載は JIS K とする。
※ 流量調整弁

11. 天井吊り形FCU及び全熱交換機
12. 放熱器
13. 吹出口 ・ 吸込口
14. ダクト
15. 防煙・防火ダンパー
16. チャンバー等

イ) ケット形の風量分配ダクトは、自己消火性のポリスチレンフォームでもよい。
ロ) 通気用ダクトの材質は「火災予防条例の運用について」を適用する。
イ) 放熱器及びレタリングボックスは、放熱器を取り付けた状態でもよい。
ロ) 断熱材被覆鋼管は、取り付けた状態でもよい。
イ) アルミニウム製塗料は、※ 有り、行わない。
ロ) 吸込口V型は防炎キャッチャー付吸込口とする。
イ) ※ 低圧ダクト ・ 高圧ダクト ・ 高圧ダクト
ロ) 短形ダクトは ※ アングルフランジ工法
・ コーナポルト工法 ( ・ 共振法 ・ スライドオンフランジ工法 )
( 径1500mm を超えるものはアングルフランジ工法とする。 )

ハ) 防火区画を貫通するダクトは、その貫通部分の厚さは150mmを1.6mm保鋼板とする。
二) 扉用ダクトの扉は「火災予防条例の運用について」を適用する。
イ) 防煙ダンパーは ※ 電気式 ・ 空気式 ・ 復元機構は ※ 通風式 ・ 手元式
ロ) 電気式防煙ダンパーの動作電圧、電流はDC24V、0.6A以上とする。
イ) 機械吹出口には、長さ100×300×300の連続チャンバーを設ける。
ロ) レタリングダクトの断熱は (指 4) による。

ハ) 外壁に露するダクトにチャンバー等を設ける場合は原則として排水を考慮する。
イ) 吹出口接続チャンバー及び吸込口したダクト並びにダンパー類とする。
ロ) 内張りチャンバー類の構造は、外注とする。
ハ) 吹出口接続チャンバーは内張りしたチャンバーには点検口を設ける。
点検口の寸法は、原則として400×600とする。
・ グリスエクストラクター ・ グリスフィルター
イ) 形式はビートル型 (コック付) となる。 ・ 蓄熱式
ロ) 下記の箇所、若しくは図示により取り付ける。

17. 溝蓋内貼り
18. グリス除去装置
19. 漏洩量計及び流量測定口

20. 防振継手
21. 引込継手
22. 弁類
23. 埋設表示
24. はつり工事
25. 掘削等

26. 防振継手
27. 引込継手
28. 弁類
29. 埋設表示
30. はつり工事
31. 掘削等

26. 防振継手
27. 引込継手
28. 弁類
29. 埋設表示
30. はつり工事
31. 掘削等

26. 防振継手
27. 引込継手
28. 弁類
29. 埋設表示
30. はつり工事
31. 掘削等

26. 防振継手
27. 引込継手
28. 弁類
29. 埋設表示
30. はつり工事
31. 掘削等

26. 防振継手
27. 引込継手
28. 弁類
29. 埋設表示
30. はつり工事
31. 掘削等

26. 防振継手
27. 引込継手
28. 弁類
29. 埋設表示
30. はつり工事
31. 掘削等



<p>空気調和・暖房・換気設備</p> <p>20. 定流量・変流量ユニット</p> <p>21. 風 量 計</p> <p>22. 圧 力 計</p> <p>23. 冷凍水等の空気抜き</p> <p>24. 煙 道</p> <p>25. オイルサービスタンク</p> <p>26. 油 積 算 量 計</p> <p>27. 地下オイルタンク</p> <p>28. フィルターの予備品</p> <p>29. 防 塵 装 置</p> <p>30. 冷凍機の安全弁等のガス放散管</p> <p>31. 蒸気ボイラー安全弁放散管</p> <p>32. 冷 媒 ガ ス</p> <p>33. 直 接 吸 収 冷 媒 水 漏 漏</p>	<p>・ 冷凍機側の冷水出口</p> <p>・ 冷凍機側の冷却水出口</p> <p>・ ボイラー又は熱交換器の温水出口</p> <p>・ 冷凍水ヘッダーの各排水</p> <p>・ ユニッド形空気調和機の冷水温水入口</p> <p>・ メカニカル形</p> <p>・ 風速センサー形</p> <p>・ 標準型によるほの標準した箇所及び起の箇所に取り付ける。</p> <p>・ ユニッド形空気調和機側の温水ダクト、外気ダクト及び給気ダクト。</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>機器付属以外の温度計は ※ 工業用メタメル式温度計 ・ ガード付き熱温度計 指示した箇所に取付ける。</p> <p>イ) 空気漏れを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜きを設置 ( ※ 手動 ・ 自動 ) を取付ける。</p> <p>ロ) 自動空気抜き弁装置は、施工30 (g) による。</p> <p>ハ) 厚さ ※ 3.2mm ・ 4.5mm</p> <p>ロ) 煙管温度計 ・ 取付け可 ・ 取付け不可 ・ 取付け可</p> <p>ハ) 煙じん集溜出口 (φ60×2) を ※ 取付け可 ・ 取付け不可</p> <p>イ) 液面制御装置の機能は下記による。</p> <p>・ 給油ポンプの起動、停止</p> <p>・ 送油ポンプの起動、停止</p> <p>・ 減油警報</p> <p>・ 減油警報</p> <p>・ 送油警報</p> <p>・ 送油警報</p> <p>ロ) 油面計はゲージ式 (視察式) とする。</p> <p>ハ) 送油ポンプのあるシステムでフロートスイッチの上層フロートは、通過検出点とする。</p> <p>※ 取付ける (指示した箇所に取付ける) ・ 取付けない</p> <p>イ) 取付け方法は標準品 ・ 施工24 (タンク室有) ・ 施工25 (タンク室無し)</p> <p>ロ) タンクの保護被覆は ※ アスファルト ・ モルタル ・ エポキシ樹脂</p> <p>ハ) 送油機指示装置 (電気式) ・ 屋内 ・ 屋外) 屋外) 電気式) を取付ける。</p> <p>ニ) 高層機は ※ 不要 ・ 要 (但し給気 ※ 別途工事 ・ 本工事)</p> <p>ホ) 土留め工事は ※ 不要 ・ 要 ( ・ 本工事 ・ 別途工事)</p> <p>空気調和機等又はフィルターチャンバーの設置枚数の50%を予備品 (持付) として納める。</p> <p>但し自動吸取り形及び グリスフィルターの場合は100%とする。</p> <p>30. 冷凍機の安全弁等のガス放散管</p> <p>法令及び施設基準に準じて取付ける。</p> <p>原料に取付けるよう取付ける。</p> <p>形式 ・ R-22 ( ) ・ R- ( )</p> <p>形式 ・ 標準式 ・ 液管式</p>	<p>給 水 設 備</p> <p>4. 弁 類</p> <p>5. 保 温 層</p> <p>6. 電 位 漏 検 査 機</p> <p>7. 水 位 検 査 機</p> <p>8. 水 位 検 査 機</p> <p>9. FRP製タンクのマンホール</p>	<p>ニ) ビニル管の接合方法 ※ 接着接合 ・ ゴム輪接合</p> <p>ホ) ポリエチレン管の接合方法 50A以下 ・ 融着継手 ・ 金属製継手 75A以上 ・ 融着継手</p> <p>ヘ) ゴム輪接合の場合、直交以外の継ぎ手前には難燃防止金具取付とする。</p> <p>ト) 特記な給水管の最小口径は20Aとする。</p> <p>チ) ステンレス鋼管を使用する場合は下の水の確認を行う。</p> <p>電気伝導率、Mアルカリ度、カルシウムイオン、マグネシウムイオン、全硬度、重炭酸イオン、遊離炭酸、塩素イオン、総鉄イオン、シリカ、高純度物質</p> <p>イ) 公室水道に直結する配管に使用するものは、JIS10Kとする。</p> <p>ロ) 高層タンク以外の配管に使用するものは、JIS10Kとする。</p> <p>ただし、特記部分にはJIS10Kとする。</p> <p>ハ) 配管材料は、注水配管 ・ 弁類は水道事業者の指定品とする。</p> <p>配管材、ステンレス製タンクの保護 ・ 加工しない</p> <p>・ 共通仕様書による (付録品含む) ・ 水道事業者指定品</p> <p>※ 合成樹脂製 ・ 人造石と出鋼品 ・ アルミニウム合金製</p> <p>イ) 配管の水栓は ・ キーハンドル</p> <p>ロ) 台所流し用の水栓は泡流しとする。</p> <p>屋外に設置するFRP製水栓のマンホールは 二重蓋 (複合蓋) とする。</p>
	<p>○ 排 水 設 備</p> <p>1. 配 管 材 料</p> <p>2. 煙 試 験</p> <p>3. グリス積算器</p>	<p>イ) 屋内汚水管 ・ メカニカル形排水鋼管 (1種管) ・ メカニカル形排水鋼管 (2種管)</p> <p>・ コーティング鋼管 ( ※ タールエポキシ ・ 塩化ビニル) ・ 鉛管</p> <p>排水用塩ビライニング鋼管 ・ 硬質塩化ビニル管 (VP)</p> <p>ロ) 屋内排水管 ・ 配管用炭素鋼管 (白管) ・ 鉛管</p> <p>・ コーティング鋼管 ( ※ タールエポキシ ・ 塩化ビニル)</p> <p>排水用塩ビライニング鋼管 ・ 硬質塩化ビニル管 (VP)</p> <p>・ 清潔以上の床下露出部分は硬質塩化ビニル管 (VU) でもよい。</p> <p>・ 全管径の40A以下の管はコーティング鋼管を使用する。</p> <p>ハ) 通気管 ※ 配管用炭素鋼管 (白管) ・ 硬質塩化ビニル管 (VP)</p> <p>ニ) 屋外排水管 ・ 硬質塩化ビニル管 (VU再生管) ・ 硬質塩化ビニル管 (VP)</p> <p>・ 水道用耐腐性硬質塩化ビニル管 (HIVP)</p> <p>・ 行ななくてもよい ・ 指示の系統のみ行う</p> <p>・ 工場製品 ( ・ SUS製 ・ 鋼製鋼管 ・ FRP製) ・ 現場施工品</p> <p>・ 耐火被覆 ・ 施工61 (a) を施工する。 ・ 施工しない</p>	
	<p>○ 給 湯 設 備</p> <p>1. 配 管 材 料</p> <p>2. 弁 類</p> <p>3. 沸 騰 器</p>	<p>※ 保溫被覆鋼管 ・ 鋼管 ・ 耐熱性ライニング鋼管 ・ ステンレス鋼管</p> <p>※ JIS5Kとする。ただし、水道直結部分及び特記部分はJIS10Kとする。</p> <p>沸騰器には換気ファン連動装置を設けるものとし、別途電気工事との接続は開閉式沸騰器にあっては本体に付属する水圧スイッチで行うものとする。</p> <p>また、ガスコンロを使用する場合には「ガスコンロを使用する場合は、手動スイッチにより沸騰機を運転すること」と記載した注意書を設ける。</p>	
	<p>○ 消 火 設 備</p> <p>1. 消 火 栓 弁 の 新 置</p> <p>2. 配 管 材 料</p> <p>3. 保 温 層</p> <p>4. 屋 外 消 火 栓 ・ ホース接続箱</p> <p>5. 新 設 系 統 消 火 器 の 種 類</p> <p>6. 二 級 化 炭 素 消 火 器 の 起 動 方 式</p> <p>7. 新 設 系 統 消 火 器 の 起 動 方 式</p>	<p>※ JIS10K ・ JIS16K</p> <p>イ) 一般配管用 ※ 配管用炭素鋼管 (白管)</p> <p>ロ) 土中配管用 ※ 外面被覆鋼管</p> <p>(土管を含む)</p> <p>イ) 貯水タンクの保護 ※ 施工しない ・ 施工する</p> <p>ロ) 貯水タンクの保護 ※ 施工しない ・ 施工する</p> <p>ハ) 消火配管の保護は次の通り。</p> <p>・ 屋内消火栓 ※ 施工しない ・ 施工する</p> <p>・ スプリンクラー ※ 施工しない ・ 施工する</p> <p>・ 連結給水 ※ 施工しない ・ 施工する</p> <p>・ 連結給水 ※ 施工しない ・ 施工する</p> <p>※ 鋼板製 ・ ステンレス鋼板製</p> <p>・ 1G-541 ・ 変換 ・ HFC-227aa ・ HFC-23</p> <p>※ 手動 ・ 自動、手動切替式</p> <p>※ 手動 ・ 自動、手動切替式</p>	
<p>○ 排 煙 設 備</p> <p>1. 一 般 事 項</p> <p>2. ダ クト</p> <p>3. 排 煙 口</p>	<p>空調、暖房、換気の当該事項を適用する。</p> <p>※ 高圧1ダクト ・ 高圧2ダクト</p> <p>※ 亜鉛鉄板製 ・ 鋼板製</p> <p>イ) 形状 ・ 可動羽根 ・ 可動パネル</p> <p>ロ) 開放装置は ・ 手動 ・ 手動及び遠隔操作の可能なもの</p>		
<p>○ 自 動 制 御 設 備</p> <p>1. 中 央 監 視 制 御 装 置</p> <p>2. 電 氣 装 置</p> <p>3. 遠 隔 操 縦 器 等</p> <p>4. 計 装 工 事 の 配 線</p>	<p>・ 有り (構成機器は指示による) ・ 無し</p> <p>・ 要 ( ・ 本工事 ・ 別途工事) ・ 不要</p> <p>取付高さ ※ 1300mm</p> <p>イ) 屋外、屋内露出の配線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。</p> <p>ロ) 原則として、次の用途に使用する電線種別はE1ケーブルとし、規格は一般共通事項 22.電線種別の規格による。(線種、規格はこれに準ずるものとする)</p> <p>用途: ①電線種、排煙線</p> <p>②電気式の調節器 (サーモ・ヒューミデイター) 用電線</p> <p>③各種検出器 (温度・湿度等) ・ 操作器 (バルブ・ダンパー等) における制御電線等。</p> <p>遠隔線を除く制御線</p>		
<p>○ 衛 生 器 具 設 備</p> <p>1. 大 便 器 ・ 小 便 器</p> <p>2. 小 便 器 用 洗 浄 配 管</p> <p>3. 小 便 器 用 洗 浄 水 給 水 装 置</p> <p>4. 自 動 水 栓</p> <p>5. 手 洗 い 器 ・ 洗 手 器</p> <p>6. 水 石 け ん 入 れ</p> <p>7. 化 粧 鏡</p> <p>8. 拍 動 大 便 器 の 防 火 処 理</p>	<p>図表の注意書を取付ける。( ・ 機器表に不要と特記された器具は除く)</p> <p>※ 埋込形 ・ 露出形</p> <p>※ 個別配管方式 (電源供給方式 ・ AC100V ・ 乾電池)</p> <p>工事範囲は、電気1次配管設置検査合格まで本工事とする。</p> <p>電源供給方式 ・ AC100V ・ 乾電池</p> <p>図表の器具名 (JIS記号等) の実取器Sは、水石けん入付を示す。</p> <p>※ 陶器形番 ・ 型付形</p> <p>※ 露出形 ・ 埋込形</p> <p>標準品 (施工61) の ※ ② ・ ①</p>		
<p>○ 給 水 設 備</p> <p>1. 浄 水 器</p> <p>2. 浄 水 器 類</p> <p>3. 配 管 材 料</p>	<p>イ) 視メーター ※ 借用 ・ 買取り</p> <p>ロ) ゼーター ※ 買取り ・ 借用</p> <p>イ) 視メーター用 ※ 水道事業者の指定品 ・ 標準品 (規格62)</p> <p>ロ) ゼーター用 ※ 標準品 (規格62) ・ 水道事業者の指定品</p> <p>イ) 一般配管用 ※ ステンレス鋼管 (SUS304) ・ ステンレス鋼管 (SUS316)</p> <p>・ 塩ビライニング鋼管 (SGP-V) (SGP-FVA) (K-V)</p> <p>・ ポリ粉体鋼管 (SGP-P) (SGP-FPA) (K-P)</p> <p>ロ) 土間配管用 ・ ステンレス鋼管 (SUS304) ・ ステンレス鋼管 (SUS316)</p> <p>・ 塩ビライニング鋼管 (SGP-V) (SGP-FVD) (K-V)</p> <p>・ ポリ粉体鋼管 (SGP-P) (SGP-FPD) (K-P)</p> <p>・ 水道用ポリエチレン管 水道用配水用ポリエチレン管</p> <p>ハ) 屋外土中用 ・ ステンレス鋼管 (SUS304) ・ ステンレス鋼管 (SUS316)</p> <p>・ 塩ビライニング鋼管 (SGP-V) (SGP-FVD) (K-V)</p> <p>・ ポリ粉体鋼管 (SGP-P) (SGP-FPD) (K-P)</p> <p>・ 水道用耐腐性硬質塩化ビニル管 (HIVP)</p> <p>・ 水道用ポリエチレン管 水道用配水用ポリエチレン管</p>		

<p>○ 機 械 式 駐 車 設 備</p> <p>1. 機 構</p> <p>2. 駐 車 方 式</p> <p>3. 運 送 数 値</p> <p>4. 車 間 寸 法</p> <p>5. 最 大 積 載 荷 重</p> <p>6. 電 源 ・ 容 量</p> <p>7. 運 転 方 式</p> <p>8. 安 全 装 置</p> <p>9. 耐 震 措 置</p>	<p>※ 共通仕様書適合品 ・ 製造者標準品</p> <p>※ 二段方式 ・ 多段 ( ) 段方式</p> <p>※ 昇降式 ・ 昇降機付式 ・ 昇降ピット式 ・ 昇降機付ピット式</p> <p>運 送 数 値</p> <p>長×幅 × 高さ mm ・ 4,700 × 5,000 × 5,300 ・ 5,750</p> <p>幅 mm ・ 1,700 ・ 1,800 ・ 1,900 ・ 2,050</p> <p>高さ mm ・ 1,550 ・ 2,000 ・</p> <p>・ 1,500kg ・ 1,700kg ・ 2,00kg</p> <p>※ 3φ200V ・ 1φ100V _____ kw 同時動作 _____ 連分</p> <p>※ 押しボタン方式 ・ 自動方式</p> <p>・ 二段方式の「自動付戻装置」を除く</p> <p>・ 出庫警報装置を ※ 取り付ける ・ 取りやめる</p> <p>構造体の設計用水平面図 _____</p>
--	---

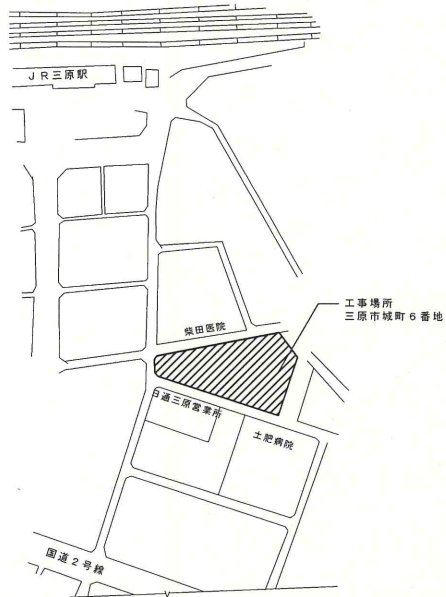
建設大臣官庁官庁建築事務の「建築材料・設備材料等品質性能評価事業 設備材料等評価名簿 (平成12年版)」記載仕様表

品 目	機 材 名	備 考
弁及び継手	圧注弁・温度調節弁 伸縮管継手 (ベローズ製、スリーブ形) 一般配管用ステンレス製弁	
ボイラー	鋼製ボイラー 鉛管用蒸気ボイラー	
温水発生機	空気式温水発生機 (鋼製・鋼板製) 直圧式温水発生機 (鋼製・鋼板製)	
冷凍機	チリングユニット (空気調和ヒートポンプユニットを含む) 直圧式吸収冷凍機 小形吸収冷凍機ユニット	
冷却塔	冷却塔	
空気調和機	ユニット形空気調和機 ファンコイルユニット及びカセット形ファンコイルユニット パッケージ形空気調和機 (電動式) コンパクト形空気調和機	
空気清浄装置	ガスエンジン式パルケージ形空気清浄機 エアフィルター (袋状形、折込み形、袋形) 自動吸取りエアフィルター 電気集じん器	
全熱交換器	全熱交換器 (回転形、静止形) 全熱交換ユニット	
送風機類	遠心送風機 (多形形送風機) 軸流送風機 軸流送風機 消音ボックス付送風機	
ポンプ類	換気用ポンプ 水中モーターポンプ (汚水用、雑排水用、汚物用) 高圧送水ポンプ	
ダクト付属品	排出口・吸込口 風量ユニット (管巻巻、変換巻)	
自動制御	自動制御システム	
衛生器具ユニット	衛生器具ユニット	
タンク	FRP製パネルタンク 鋼板製パネルタンク 密閉型鋼板製配管タンク	
消火装置	スプリンクラー消火システム 二級化炭素消火システム 消火システム	
鋼製製ふた	マンホールふた・弁類ふた	

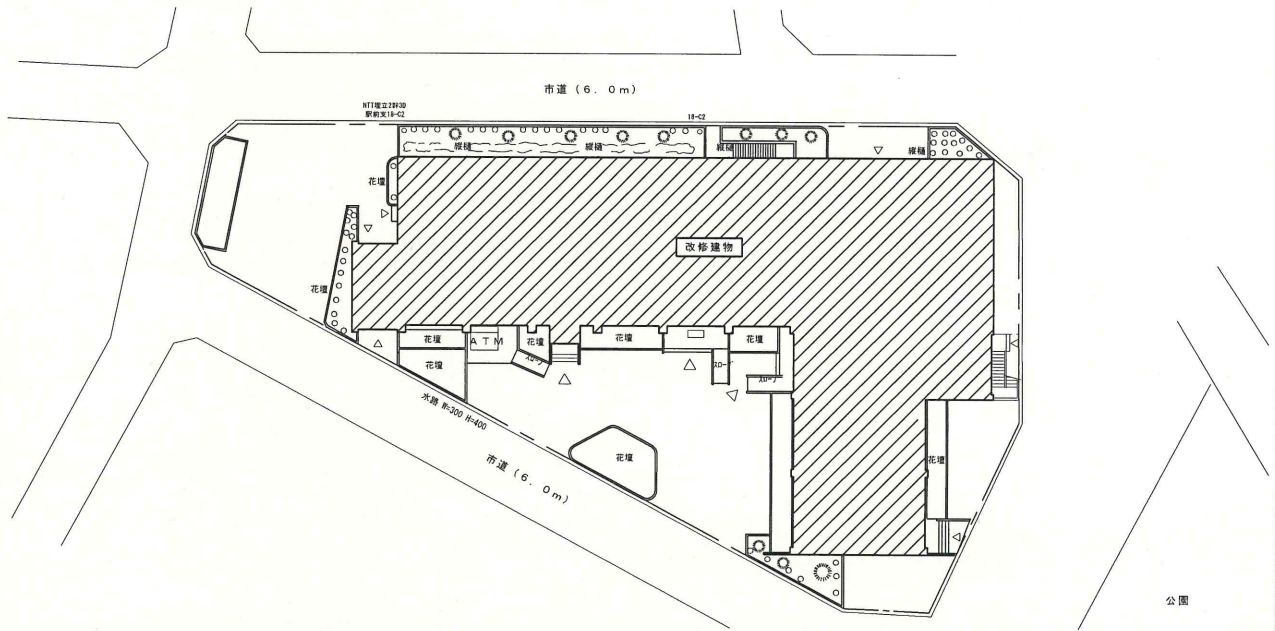
精査事項等	

メーカーリスト	
機 材 名	製 作 所 名
ガ ス 給 湯 器	ノーリツ    リンナイ    パーパス    パロマ

付近見取図



配置図 1/300

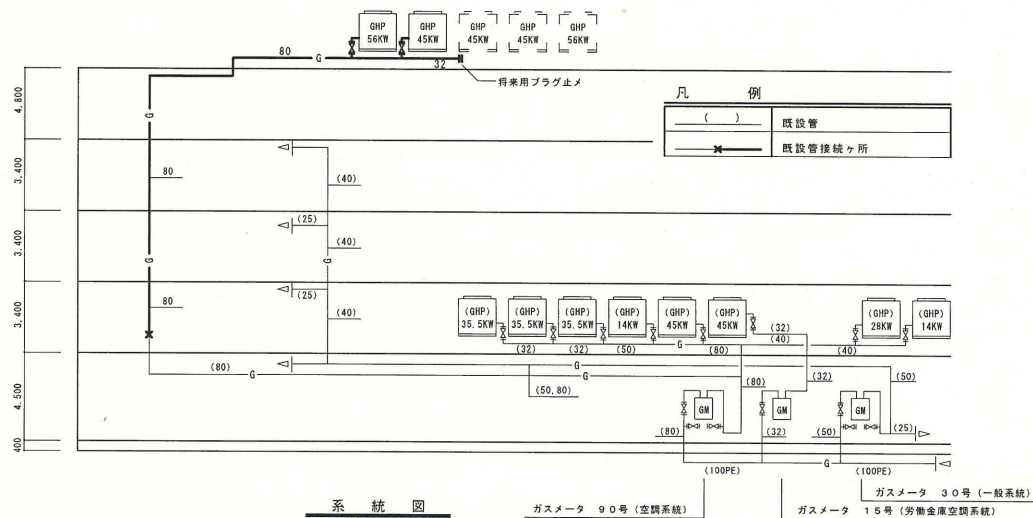


凡例

記号	名称	管種	規格	備考	
	都市ガス管	配管用炭素鋼鋼管	白管	JIS G 3452	屋外露出部分は塗装仕上げとする。

特記事項

- ダイヤモンドコア抜きの際は、請負金額内にて施工する。
- 図示無き機器・配管等で係員の指示するものは撤去処分すること。



系統図

ガスメータ 90号 (空調系統)

ガスメータ 30号 (一般系統)  
ガスメータ 15号 (労働金庫空調系統)

市民福祉会館改修工事 (ガス設備工事)

設計図

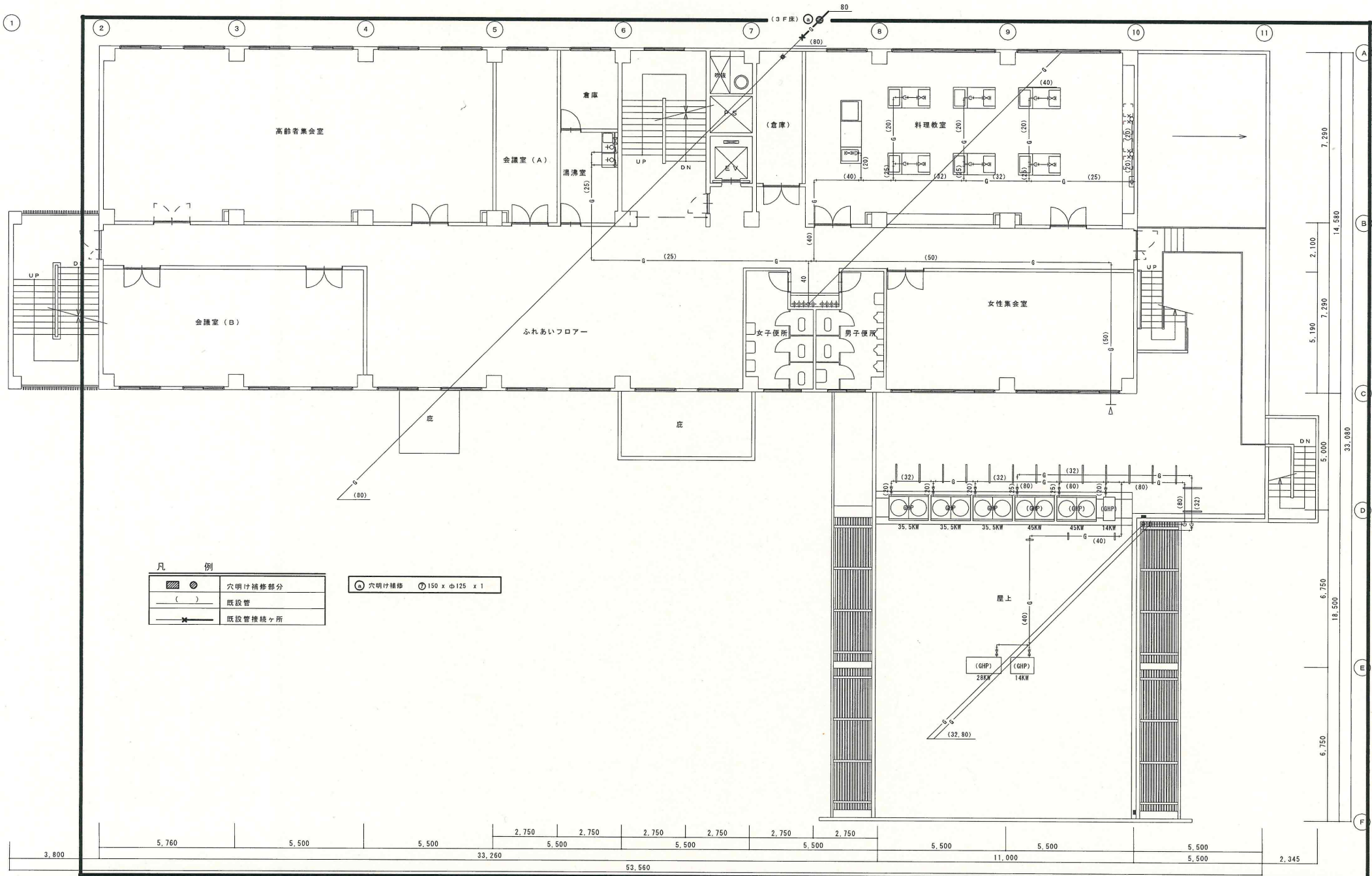
図面名称 付近見取図 配置図 系統図

Date

Scale 1/300

No. G-3





凡 例

	穴明け補修部分		穴明け補修		150 x φ125 x 1
	既設管				
	既設管接続ヶ所				

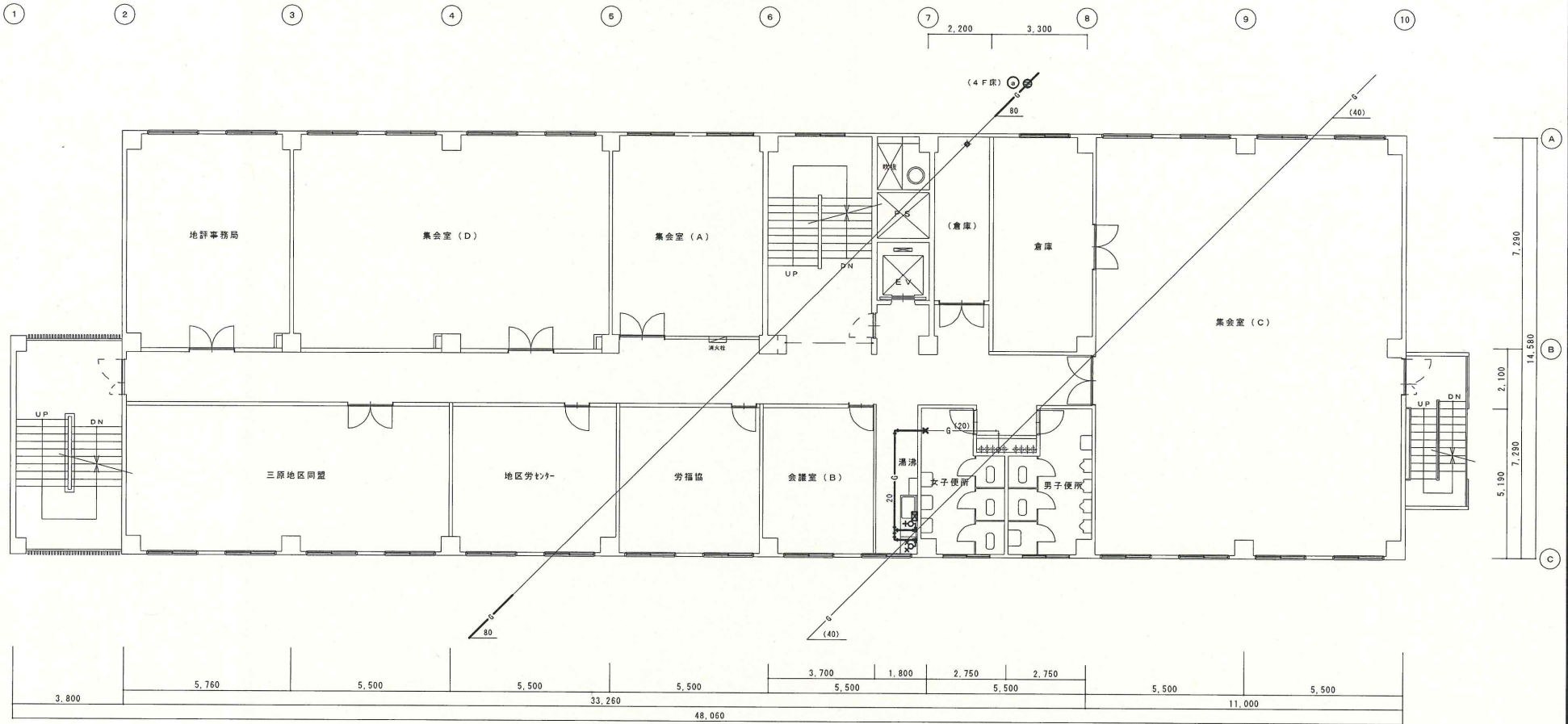
凡 例

	穴明け補修部分
	既設管
	既設管接続ヶ所

○ 穴明け補修 ○ 150 x φ125 x 1

湯沸室器具表

名 称	規 格	数 量	備 考
双口ヒューズガス栓	G825R CG-2共	1	
ガス瞬間湯沸器	5号 元止メ	1	
可とう管ガス栓	G331	1	
強化ガスホース	T1/2 x 200L	1	



市民福祉会館改修工事 (ガス設備工事)

設計図

図面名称 3階平面図 (改修後)

Date

Scale 1/100

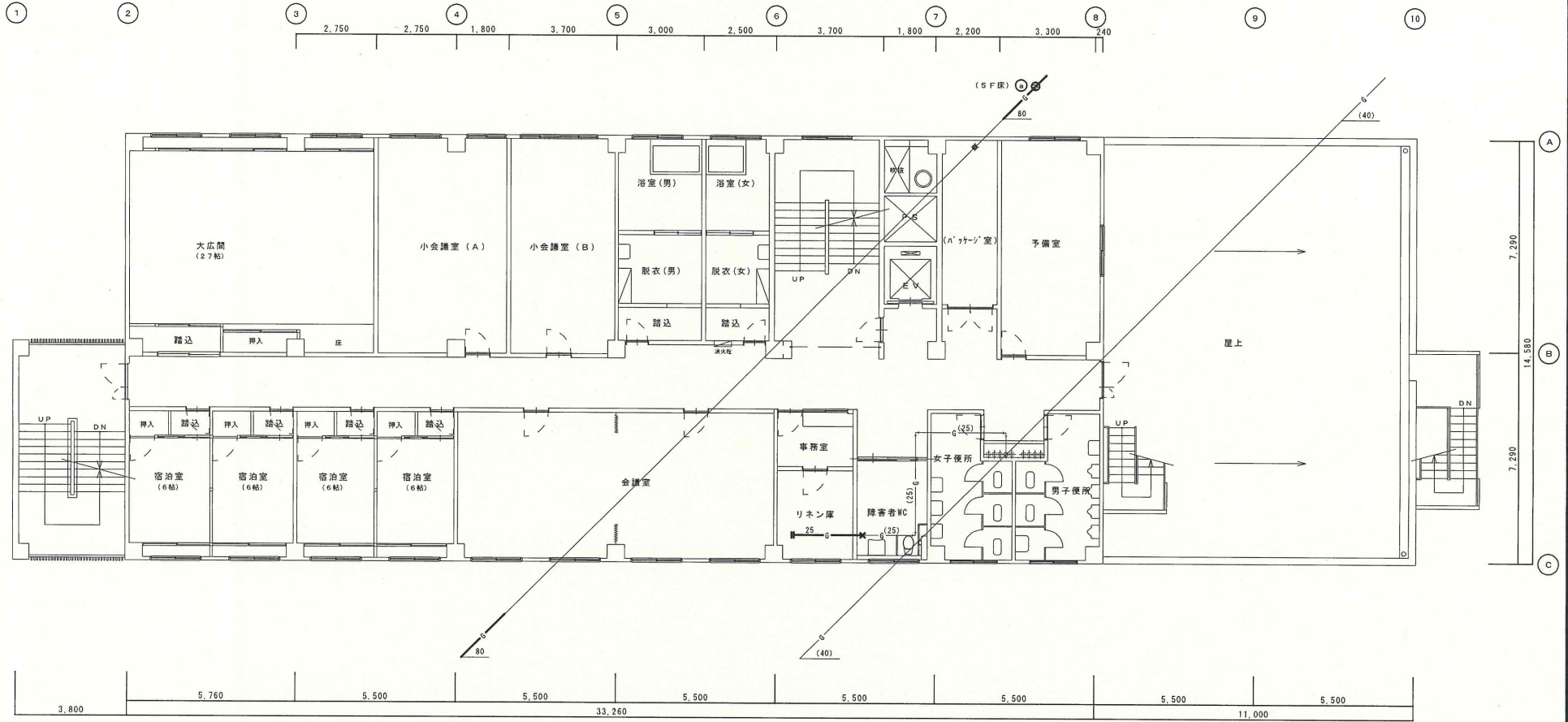
No. G-5



凡 例

	穴明け補修部分
	既設管
	既設管接続ヶ所

穴明け補修 150 x φ125 x 1



市民福祉会館改修工事（ガス設備工事）

設計図

Date



図面名称 4階平面図（改修後）

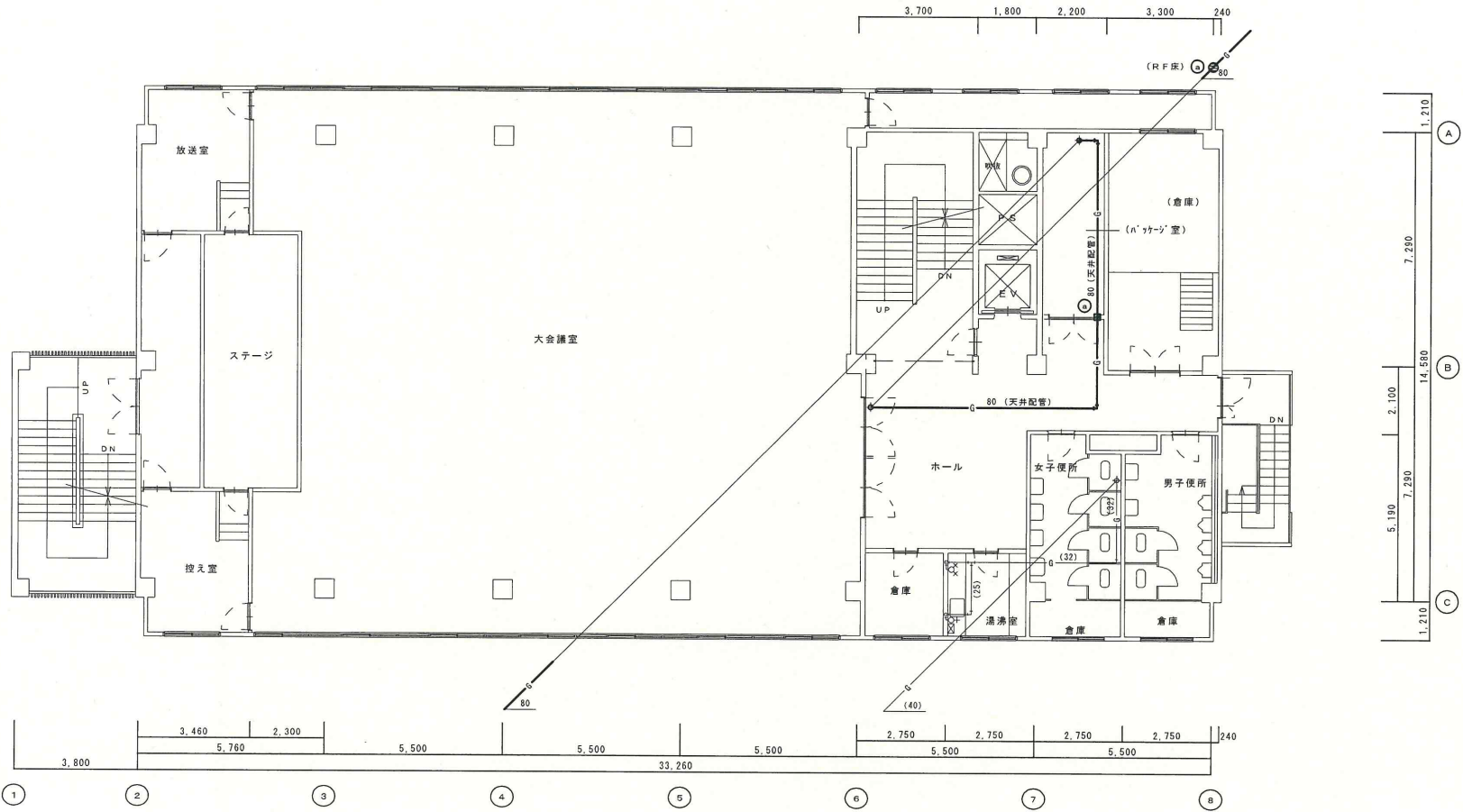
Scale 1/100

No. G-6

凡 例

	穴明け補修部分
	既設管
	既設管接続ヶ所

	穴明け補修		φ150 x φ125 x 2
---	-------	---	-----------------



市民福祉会館改修工事 (ガス設備工事)		設計図	図面名称	5階平面図 (改修後)
Date			Scale	1/100
			No.	G-7



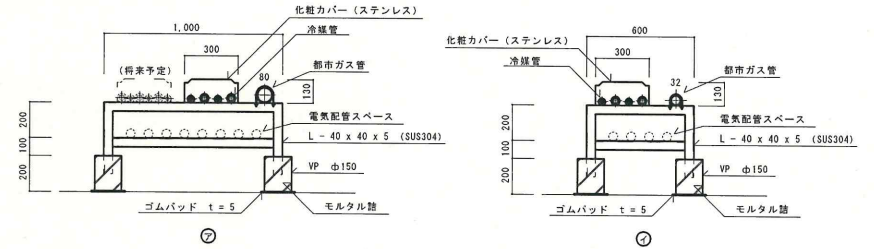
凡 例

	穴明け補修部分
	既設管
	既設管接続ヶ所

④ 穴明け補修    ⑦ 150 x φ125 x 1

屋上器具表

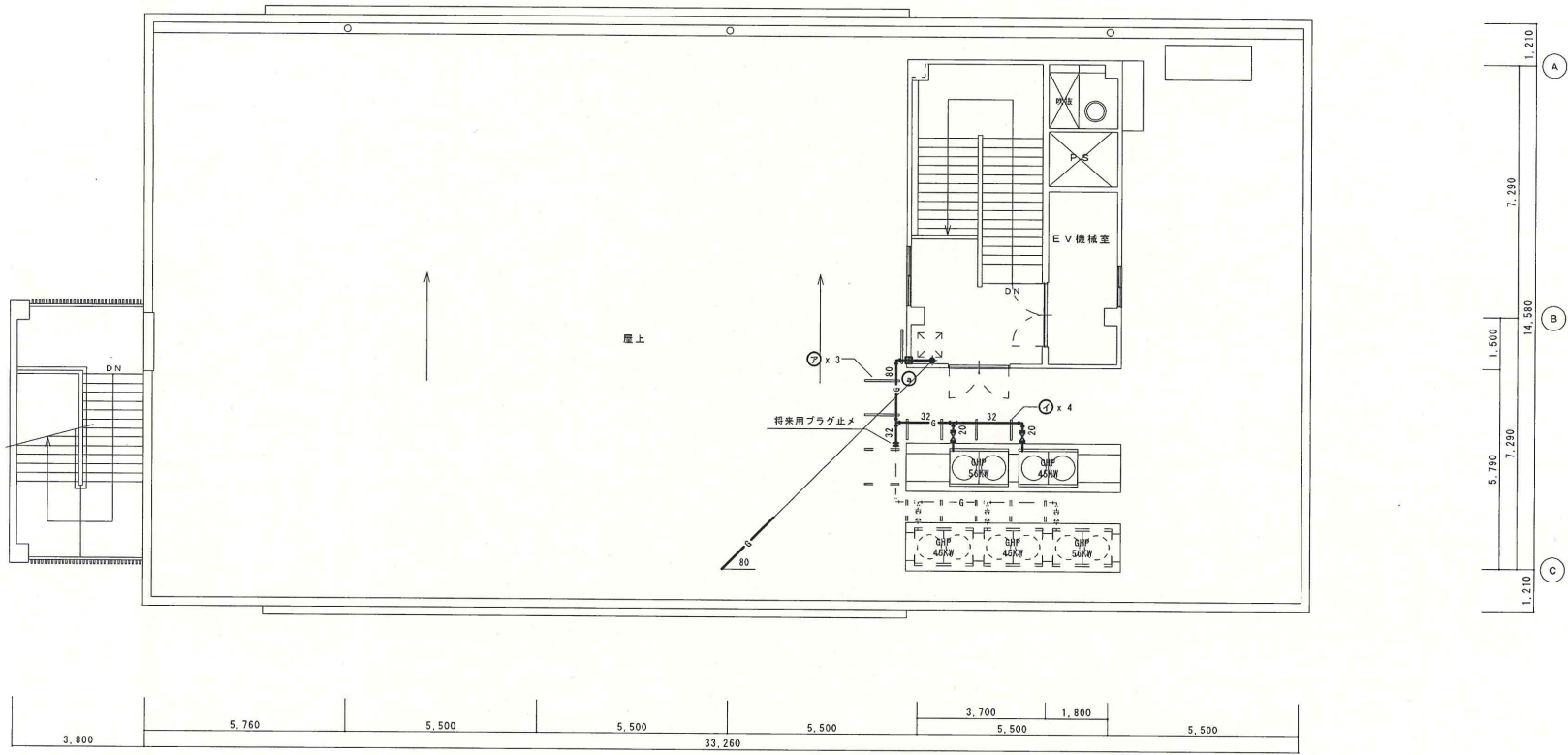
名 称	規 格	数 量	備 考
検査口付ネジガス栓	FF-752A	2	
強化ガスホース	20A x 500L	2	



※ 配管用架台は、別途空気調和設備工事とする。

屋上配管要領図

①                      ②                      ③                      ④                      ⑤                      ⑥                      ⑦                      ⑧



市民福祉会館改修工事 (ガス設備工事)

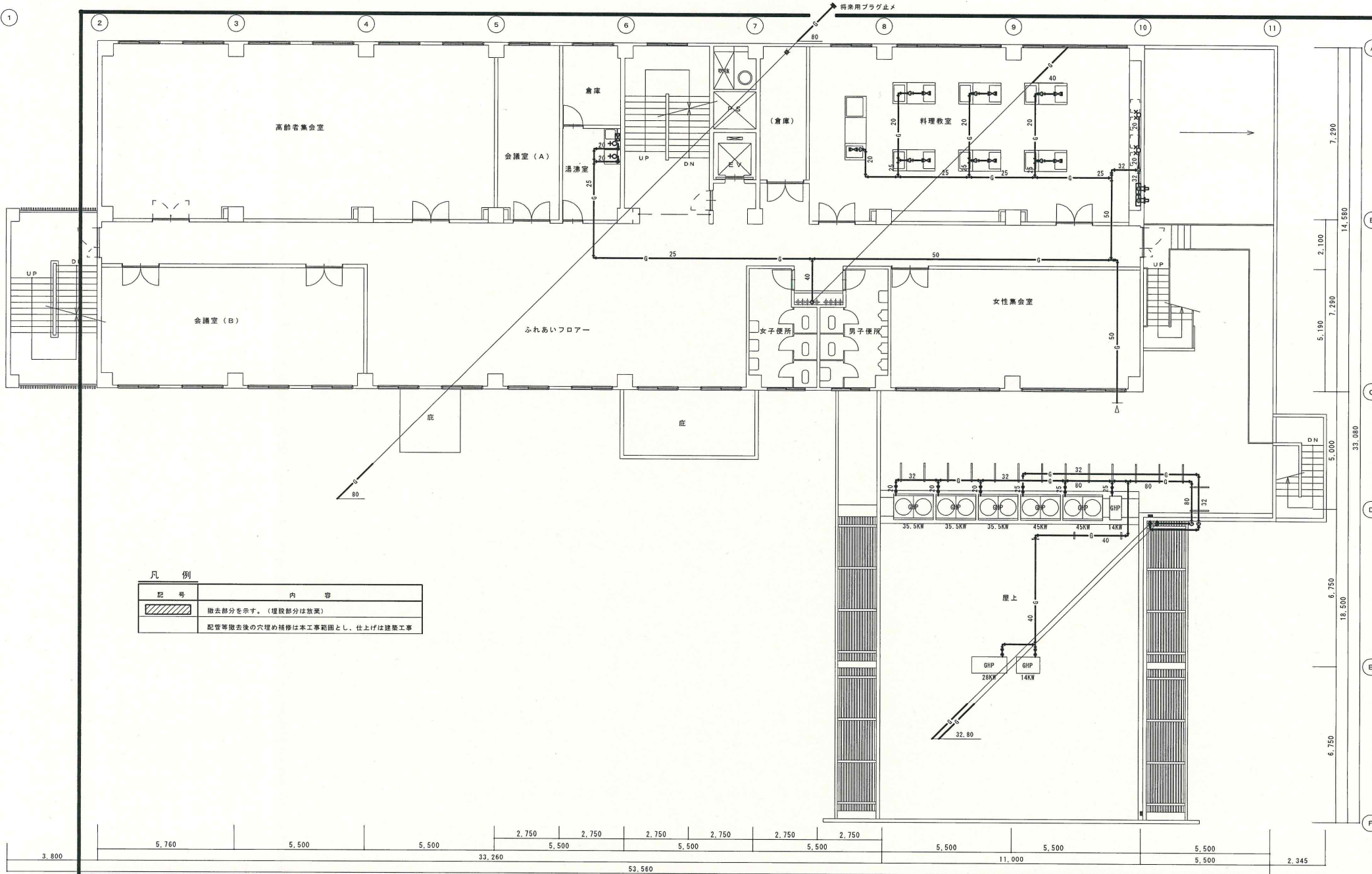
設計図

図面名称 R階平面図 (改修後)

Date

Scale 1/100

No. G-8



凡例

記号	内容
	撤去部分を示す。(埋設部分は放棄)
	配管等撤去後の穴埋の補修は本工事範囲とし、仕上げは建築工事

市民福祉会館改修工事 (ガス設備工事)

設計図

図面名称 2階平面図 (改修前)



Date

Scale 1/100


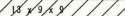

No. G-9

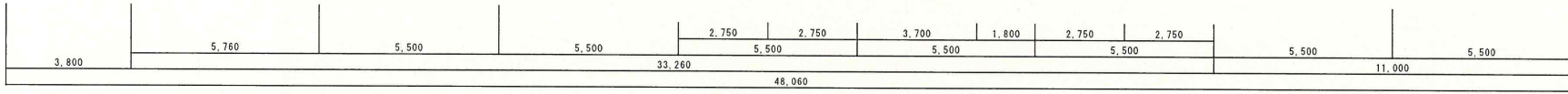
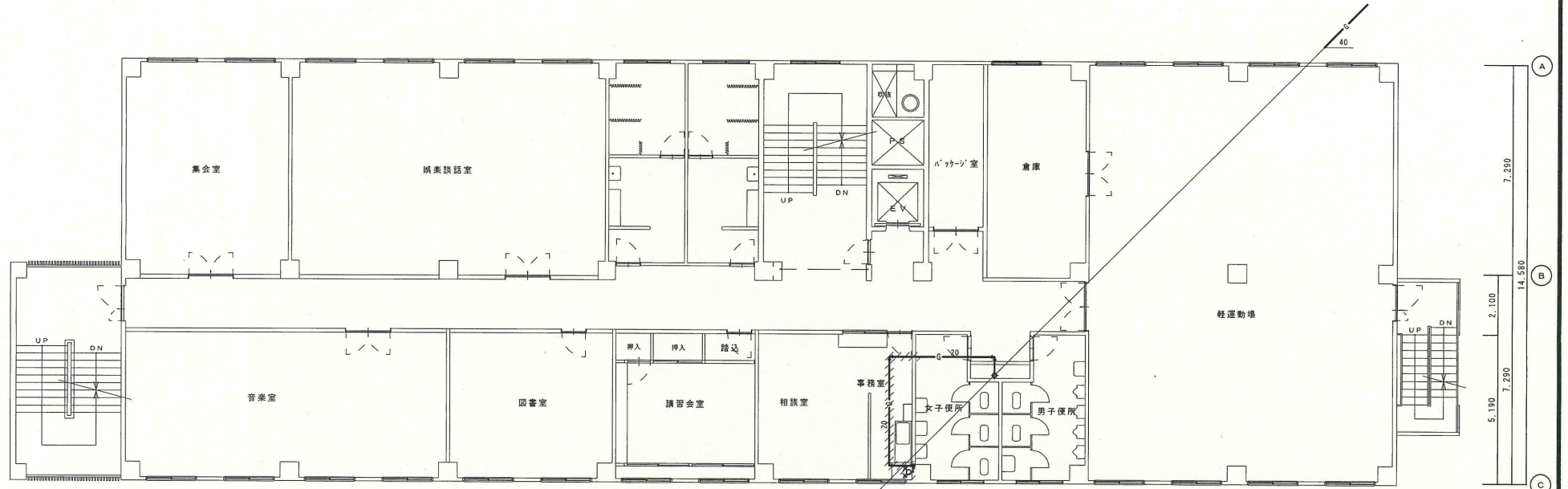


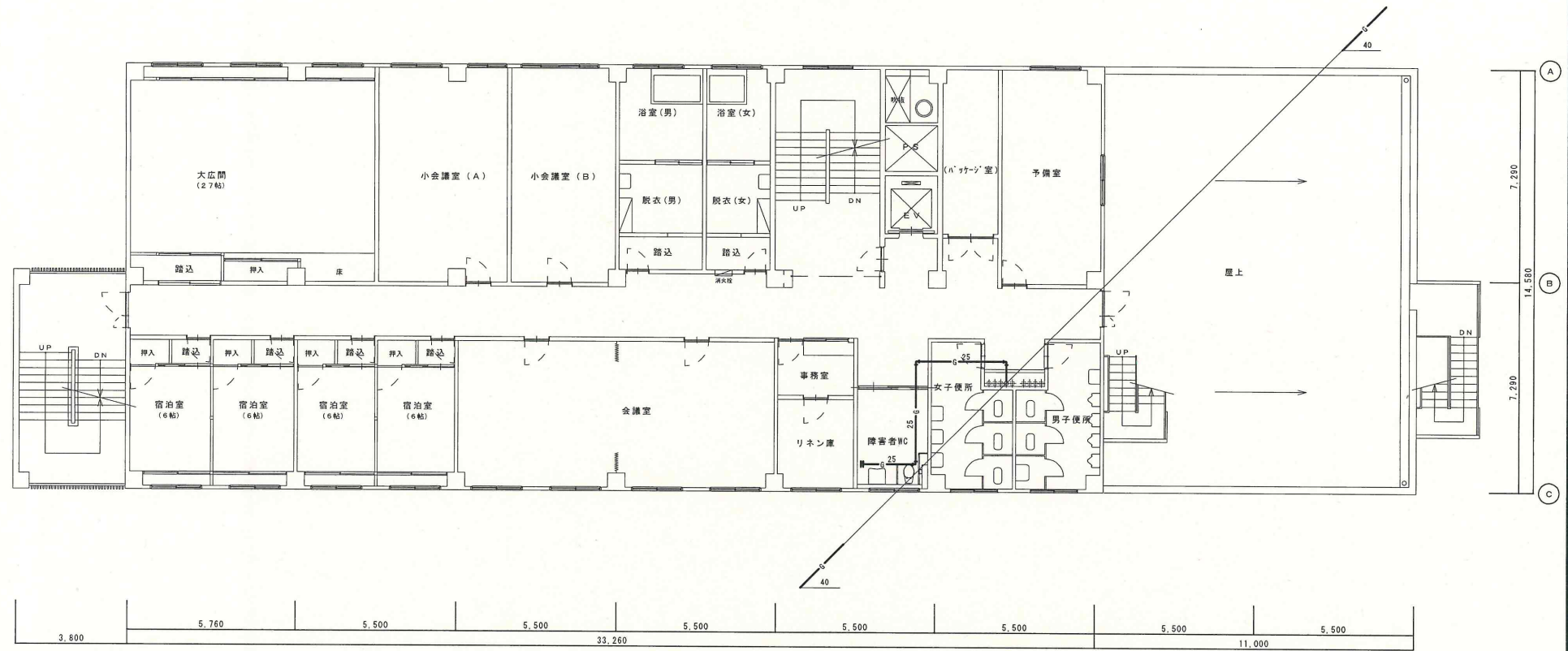
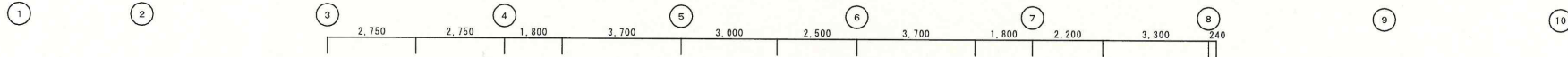
凡 例

記 号	内 容
	撤去部分を示す。(埋設部分は放棄)
	配管等撤去後の穴埋め補修は本工事範囲とし、仕上げは建築工事

事務室器具表

		
---	---	---





		市民福祉会館改修工事 (ガス設備工事) <b>設計図</b>		図面名称 4階平面図 (改修前)	
		Date		Scale 1/100	No. G-11